

省エネ型施設園芸産地育成緊急対策事業実施計画書(実績報告書・状況報告書)

R5年度以降、状況報告時に記入する欄
実績使用量(L)を記入
面積が変わった場合は、R3面積で使用量を換算

1 事業参加者
氏名 埼玉太郎
住所 さいたま市浦和区高砂○○○
連絡先(TEL) 048-830-○○○○
事業実施主体名 JA × ×

2 燃油削減目標(各年度の使用量は、当該年の10月1日～翌9月)
油種 燃油使用量(L) 削減量 削減率% 【目標】5%以上削減 【状況報告】実績(RO)
重油 10,000 8,000 1,400 14.0
灯油 5,000 4,000 1,000 20.0
合計(重油換算) 14,695 12,356 2,339 15.9 OK

チェック欄
クリア! 総合チェック
削減率5%以上となること(事業要件) 削減目標(5%以上) OK
削減率が5%以上ならOK

3 加温施設の概況(現状)・・・冬季加温を行うすべての施設の現状を記載してください(燃油を使用しない施設は記入しない)。

施設番号 加温施設の設置場所(地番) 施設面積(m²) 主な品目 加温機器1 加温機器2 外張 外張多重被覆 内張(カーテン) 備考(「その他」事項がある場合は記載) 最も面積多い品目が自動表示
1 さいたま市浦和区高砂○○○-1 1,000 きゅうり 重油暖房 なし 農PO なし 2層カーテン きゅうり OK
2 さいたま市浦和区高砂○○○-2 800 きゅうり 重油暖房 なし ホリエステルフィルム なし 1層カーテン OK
3 さいたま市浦和区高砂○○○-3 500 トマト 灯油暖房 ヒートポンプ フッ素フィルム 固定2重被覆 1層カーテン OK
4 5 6 7 8
合計 - 2,300 - - - - - -

4 導入する省エネ機器等

施設番号 対象区分(選択) リース・購入(機器のみ) 実施により導入する機器等 新規・更新 更新の場合
2 省エネ機器 購入 ヒートポンプ ○○ヒーポン・ABC型 2 2,380,000 新規
省エネ機器 購入 循環扇 ○○ファン・DEF 4 220,000 更新
被覆資材 購入 内張(カーテン) 農ビ・○○mm厚 ○m×○m 160,000 更新
種苗 購入 種苗 ミノトマト苗(品種名××) 1,000 250,000 更新
合計が自動集計

区分 事業費計(税抜額)(円) 県費(円) 市町村費(円) その他(円) 備考 (参考:県費の上限額・補助率)
省エネ機器 2,600,000 1,300,000 1,300,000 10,000,000円・1/2以内
被覆資材 160,000 80,000 80,000 1,000,000円・1/2以内
種苗 250,000 100,000 150,000 100,000円・1/2以内
計 3,010,000 1,480,000 0 1,530,000

種苗の場合の記入方法
・「更新」を選択し、現在の品目品種名を右に記載
・「耐用年数」欄は空白でよい。
・機能向上にチェック。耐用年数は空白

上限チェック 補助率 事業額計
OK OK OK
OK OK OK
OK OK OK

「様式第1号別添1(個別シート)、総括表1,2」ファイル全体に係る注意

- ・総括表1, 2は、個別シート(シート名:1,2,3,...)に記入すると、自動作成されます。このため、シート名番号を変えると正しく集計されません(シート名は変えないでください)。
- ・個別シートの右欄に確認用セルがあります。NGが一つでもあると、総合チェック欄に「要修正!」が表示されます。「クリア!」状態になるよう記入してください。
- ・個別シート(生産者1名につき1枚)は100枚まで作成してあります。もし足りない場合は、県庁生産振興課へ御相談ください。

5 4の導入により得られる燃油削減効果(該当するものに☑)

- ・ 農林水産省「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル(改定2版)」などを参考にチェックしてください。(燃油削減効果が見込めない場合には事業対象外となります)
- ・ 表中に該当する技術の記載がない場合には、別紙資料(様式任意)を添付してください。

チェック	燃油削減に係る施設の管理方法	燃油削減効果(目安)
<input checked="" type="checkbox"/>	ヒートポンプの新規導入(ハイブリッド運転)	15%以上
<input type="checkbox"/>	多段サーモ(管理温度0.5度下げる)	1~5%
<input type="checkbox"/>	多段サーモ(管理温度1度下げる)	5~10%
<input checked="" type="checkbox"/>	循環扇の導入	1~10%
<input type="checkbox"/>	保温性の高い被覆資材の導入(内張なし→内張1層)	約5%
<input type="checkbox"/>	保温性の高い被覆資材の導入(内張なし→内張2層)	約10%
<input type="checkbox"/>	保温性の高い被覆資材の導入(内張なし→内張3層以上)	15%以上
<input checked="" type="checkbox"/>	低温に強い品種の導入(管理温度0.5度下げる)	1~5%
<input checked="" type="checkbox"/>	耐用年数を超過した同規格の機器・資材の更新	1~5%

該当欄にチェック。導入しようとする機器や資材等で該当する項目ない場合は、資料を別に添付すること。燃油削減効果の削減率は目安なので、各生産者の使用状況によっては合わない場合もある。「2 削減目標」は、本欄の燃油削減効果及びその他の経営全体の取組みを踏まえて設定。

「4導入する省エネ機器等」欄の種苗欄に県費がなければグレーになる(この場合は記入不要)

※ 燃油削減効果については、農林水産省「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル(改定2版)」に準じて上記の削減効果を目安とします。

【導入する種苗について】種苗費がある場合のみ必ず記載

<input checked="" type="checkbox"/>	導入する種苗(品目・品種)をこれまで栽培した実績がない	※これまでに栽培実績のある品目・品種は補助対象外です。
-------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

【導入する種苗の温度管理に関する記述(自由記載)】

ミニトマト(品種名○○)は、これまで栽培していたトマト(品種名××)より、最低温度設定が〇℃低い栽培管理が可能であるため、約3%程度の燃油削減が可能となる。根拠としてカタログを添付。本品種はこれまで栽培実績がないため、本事業を活用して始めて栽培を行うものである。

※導入する品目・品種の特性によってなぜ温度管理が下げることが可能な理由を記述してください。

6 国の施設園芸等燃油高騰対策(施設園芸セーフティネット構築事業)への加入意向(該当するいずれか一つに☑)

<input checked="" type="checkbox"/>	加入申込済・加入見込(R4年度中)	【参考】施設園芸等燃油高騰対策の加入要件・施設園芸農家が3戸以上、または5名以上の農業従事者がいる団体が、3年間で燃油使用量を15%以上削減する計画(省エネルギー等推進計画)等を作成し、省エネや生産性向上に取り組むこと。
<input type="checkbox"/>	加入を検討中(R5年以降)	
<input type="checkbox"/>	加入の予定なし	

どれを選択してもよい(事業要件ではない)

7 確認事項

本申請にあたっては、下記内容を了承したものとみなします。内容を確認し、**すべてにチェック☑**のうえ、提出してください(一つでもチェックのない項目がある場合は申請等はできません。)

チェック欄	項目
<input checked="" type="checkbox"/>	県からの補助金の支払は、原則として当該事業実施主体からの精算払請求後となること。
<input checked="" type="checkbox"/>	申請内容に虚偽があった場合や、県から求められた書類等の提出に故意に応じない場合等には、県は交付決定を取り消し、又は補助金返還を命令すること。
<input checked="" type="checkbox"/>	本事業で導入した省エネ機器等に対して、他の補助金等を受けていないこと(市町村等における本事業への上乗せ補助は除く)。

内容を確認し、すべてにチェックを入れることが要件。

8 添付資料(該当するものすべてに☑)(その他資料がある場合には、随意記述してください)

チェック欄	添付資料	計画書(要望)	実績報告	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	見積書	必須(参考見積1者)	必須(見積合わせ3者以上)	見積合わせの徴取は、必ず本人が行うこと
<input type="checkbox"/>	納品書・領収書	—	必須	納品・支払の確認のための資料として添付
<input type="checkbox"/>	(リースの場合)契約書	—	必須	リース会社との契約書
<input checked="" type="checkbox"/>	導入する機器・資材のカタログ等	必須	—	(計画時に提出済みであれば実績報告時は省略可)
<input checked="" type="checkbox"/>	交付対象面積等の根拠となる書類	必須	—	共済加入資料(細目書)、設計書、eMAFF農地ナビ情報等
<input checked="" type="checkbox"/>	種苗の管理温度に関するデータ	必須(種苗費がある場合)	—	種苗費計上がある場合のみ添付
<input type="checkbox"/>	(該当ある場合)出来高設計書	—	必須	特にヒートポンプの場合は添付
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

必要に応じて加筆すること

種苗栽培実績要件

OK → 「種苗」で県費がある場合、チェックを入れないとNG

OK → 「種苗」で県費がある場合、記載しないとNG

加入意向☑

OK → ひとつもチェックが入っていないとNG(どれでもひとつにチェックすればOK)

確認事項全☑

OK → ひとつでもチェックが抜けているとNG(3つ全部チェック入れるとOK)